

令和 8 年 9 月 定例記者会見

日時：令和 8 年 9 月 8 日（火） 13：30～14：00（終了予定）

場所：長岡技術科学大学 事務局 1 号棟 3 階 第一会議室

内容：

1. 長岡技術科学大学 2026年10月に開学50周年

ーノーベル物理学賞受賞・天野浩先生の記念講演会をはじめ、記念式典、施設見学会、
大手通りアーケード広告等の記念事業を展開ー

（学長 かまど しげはる 鎌土 重晴）

2. 防災ワクチンに関わる研究の成果と進捗について

（機械系 教授 かみむら せいじ 上村 靖司、技術開発センター 客員教授 よしざわ あつふみ 吉澤 厚文）

以上

2026年9月8日

長岡技術科学大学長 鎌土重晴

長岡技術科学大学 2026年10月に開学50周年

～ノーベル物理学賞受賞・天野浩先生の記念講演会をはじめ、
記念式典、施設見学会、大手通りアーケード広告等の記念事業を展開～

長岡技術科学大学は1976(昭和51)年の開学以来、本学のモットーである「VOS(Vitality, Originality, Services)」の精神に基づき、独創的な能力のある人材を養成することを使命とし、技術革新を牽引する多くの技術者・研究者を社会に輩出してまいりました。2026年10月に開学50周年を迎えるにあたり、これまで本学を支えてくださった地域社会や関係機関の皆さまに感謝をお伝えするとともに、次の50年へのさらなる飛躍を期し、各種記念事業を開催いたします。

1. 記念事業等

①記念式典

日時： 10月3日(土)13:00～14:15

会場： 長岡市立劇場(長岡市幸町2丁目1-2)

②記念講演会(チラシ別添1)

中高生、地域の方など、どなたでも参加できる講演会です。

日時： 10月3日(土)14:45～16:15

会場： 長岡市立劇場

講師： 天野 浩 先生(名古屋大学特別教授／2014年ノーベル物理学賞受賞)

演題：「新技術を社会実装する原動力とこれからの50年に向けた若き技術者への期待」

申込： 本学公式サイトのイベントページの申込フォームより、締切9/23(水)

https://www.nagaokaut.ac.jp/event/20260724_4681.html

③記念祝賀会

日時： 10月3日(土)17:15～19:00

会場： ホテルニューオータニ長岡(長岡市台町2丁目3-9)

④施設見学会(チラシ別添2)

開学50周年記念事業として大学内に整備している共創交流施設、共創研究施設等を見学するイベントです。

日時： 10月4日(日)10:00～12:00

見学施設： ●図書館、●リージョナルGXイノベーション共創センター、

●DXRものづくりオープンイノベーションセンター、●テクノミュージアム「てくみゅ」、

●図書館1階のアゴラにて本学ロボコンチームのロボットの实演・動態展示

対象： 本学同窓生、関係機関のご関係者、名誉教授など、約180名

⑤GX棟(リージョナルGXイノベーション共創センター)見学会(チラシ別添3)

地域の皆様に本学の活動を深く知っていただき、日頃の取り組みへのご理解を深めていただく機会として、昨年度に引き続き開催するものです。小学生・保護者向けの見学会には20名程度の親子連れが参加予定です。同日に一般・同窓生向け見学会も開催しますが、報道関係の方の取材は小学生・保護者向け見学会のほうでお受けします。

日時： 9月19日(土)

小学生・保護者向け 10:00～11:30 一般・同窓生向け 13:00～14:00

会場： 長岡技術科学大学 リージョナルGXイノベーション共創センター

テーマ： 再生可能エネルギー(太陽・風・雪)

内容(小学生・保護者向け)： 研究・実験施設の見学、再生可能エネルギーの講義、風車組み立てキットの体験

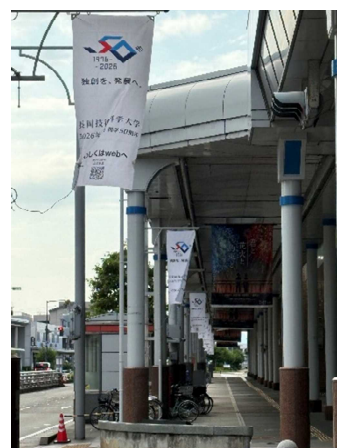
参加費： 無料

備考： 9/19当日は、本学において技大祭(本学の大学祭)も開催されます。

⑥大手通商店街アーケード広告

掲出期間：～10月10日(土)

掲出場所：長岡市大手通商店街アーケード



2. 取材申込

記念事業の取材・撮影をご希望の報道機関におかれましては、次のとおりお申込くださるようお願い申し上げます。

(1) 申込期限

①記念式典、④施設見学会：9月30日(水)まで

⑤GX棟見学会：9月18日(金)正午まで

(2) 取材申込先

長岡技術科学大学企画・広報室

TEL:0258-47-9209 E-mail:skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp

以上



長岡技術科学大学 開学 50 周年記念事業 記念講演会

「新技術を社会実装する原動力と これからの 50 年に向けた若き技術者への期待」

本学の開学 50 周年を記念し、
2014 年ノーベル物理学賞受賞者の
天野浩先生をお迎えして講演会を開催します。

令和 8 年

日時

10 月 3 日 土
14:45 ~ 16:15

開場 14:15 開演 14:45

会場

長岡市立劇場 大ホール
(新潟県長岡市幸町 2 丁目 1 番 2 号)

講師

名古屋大学特別教授

天野 浩 先生

天野 浩 先生 略歴

1988 年名古屋大学助手、1989 年名古屋大学大学院で工学博士号取得。1992 年名城大学講師、2002 年名城大学教授、2010 年名古屋大学大学院教授。2015 年には名古屋大学未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス集積研究センター長に就任した。故赤崎勇博士、中村修二博士と共に「高輝度、省エネルギーの白色光源を可能とした高効率青色発光ダイオードの発明」にて 2014 年ノーベル物理学賞を受賞。現在は、名古屋大学において高効率パワー半導体など新たな省エネルギーデバイスの創成に向けた研究を進めている。

参加費

無料 定員 先着 300 名

参加申込
方法

右記二次元バーコードからお申し込みください。
お申込後、メールにて当日受付用の
二次元バーコードを送付いたします。



中高生から一般の方まで、
どなたでもお気軽に
ご参加ください!

申込
締切

令和 8 年
9 月 15 日 (火)

長岡技術科学大学開学 50 周年記念事業 記念講演会

検索

【注意事項】 講演中の録音・録画、写真撮影はご遠慮ください。



主催 長岡技術科学大学

後援 新潟県・長岡市・長岡技術科学大学協会の

問合せ

長岡技術科学大学総務課

TEL : 0258-47-9198

mail:so-soumu@jcom.nagaokaut.ac.jp

教育研究環境の整備状況（開学50周年記念事業）

チラシ別添2

▽大学構内の環境整備

- ▶ 新たな価値等を生み出す「共創拠点」（イノベーション commons）の形成や現状のキャンパスの課題（共創の流れ等）解決のため、図書館や福利棟周辺を整備中。

【整備済】

- ・リージョナルGXイノベーション共創センター
- ・DXRものづくりオープンイノベーションセンター

【整備予定】

- ・附属図書館(R7-R8)
- ・共創交流棟(旧福利棟、R8-R9)
- ・新福利棟(R8-R9)

共創研究ゾーン(整備完了)



リージョナルGXイノベーション共創センター



DXRものづくりオープンイノベーションセンター



共創交流ゾーン(整備中)

図書館2階(R8.4オープン)



新食堂(来春オープン)

(イメージ)

イノベーション・commons（共創拠点）構想全体図（赤字の施設が見学場所）

イノベーションcommonsとは、キャンパス全体が有機的に連携し、「共創」することで、新たな価値を創造できる拠点（3つの共創の場を創出）

① 知的情報を活用した共創の場



DXを活用した
新たな知の創造

サイバー空間・フジ
ジカル空間の融合
による新たな価値
の創造

共創交流ゾーン



地域への公開講座

日常的な知的交流
や人間関係の形成

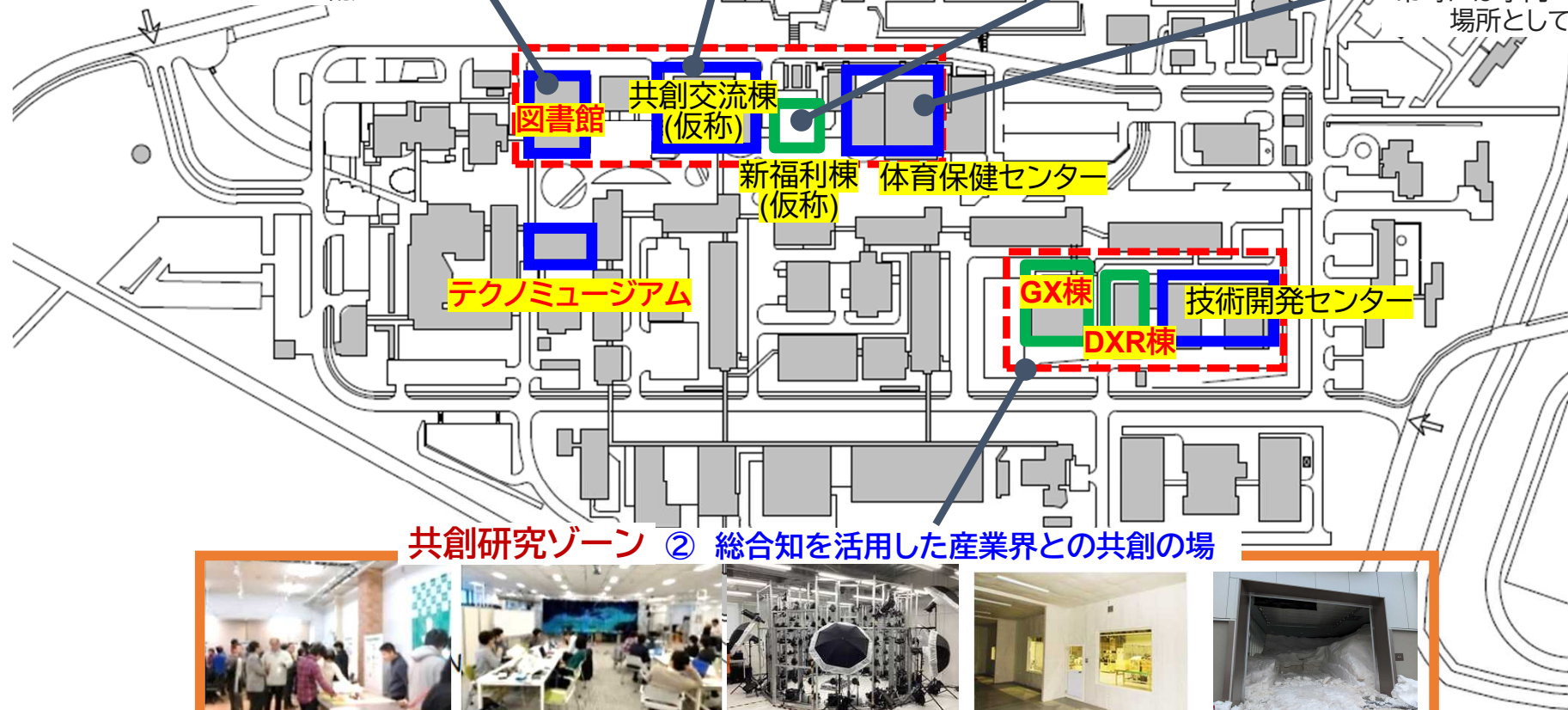
③ 多様な交流(学内・地域・国際間)を促す共創の場



ニューノーマル時代
の国際交流

食堂を共創拠点と
して活用するこ
とで交流を誘発

ニューノーマル時代の地域
共創(平常時には教育研
究・イベント・交流空間、非
常時には学内・地域の避難
場所として活用)



共創研究ゾーン ② 総合知を活用した産業界との共創の場



地元企業との交流会

他大学や企業等との
オープン・ラボ

世界をリードする
最先端研究

テクノロジー×地域資源による地方創生

附属図書館リノベーション

各階の主な施設

1階



エントランスホール



図書館入口

- ・プレゼンテーションエリア
- ・エントランスラウンジ



開架閲覧室



ギャラリーエリア



吹き抜け



中庭を望む
カウンター席

ラーニングコモンズ



2階



- ・開架閲覧室
- ・ブラウジングコーナー
- ・グループ演習室
- ・中庭を望むカウンター席

ラーニング・コモンズ



グループ演習室

3階



- ・専門書が豊富な開架閲覧室
- ・桜通りを望むカウンター席



改修中

2026年11月末オープン予定



改修中

産学連携を通じた研究力強化に向けた取組例

①地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業
& 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業

リージョナルGXイノベーション共創センター

新潟地域に加えて、世界の「地方」におけるGX関係課題を解決する実証の場、

- “ここに来ないとこの実証ができない”というGX施設の集積地。
- 物質とエネルギーの一体型循環システムを検証できる施設。
- 世界の「地方」の人材・大学・企業が共創する場。
- 研究成果の社会実装のスピードアップ、スタートアップの育成拠点。



世界中のグリーン・トランスフォーメーションに関するイノベーターが集い、社会課題を解決する知を生み出していく場を形成するため、資源(主に食品・農産物)とエネルギーの双方の循環に関する、世界でここでしかできない実証試験ができる施設として「リージョナルGXイノベーション共創センター」を整備。

主たる研究分野

- バイオを中心とした資源循環型社会の構築
- エネルギーの循環および高効率活用の構築
- 全体システムのスマート化・自動化・効率化

②地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備

■設置の経緯・理由(DXRものづくりオープンイノベーションセンターの設置について)

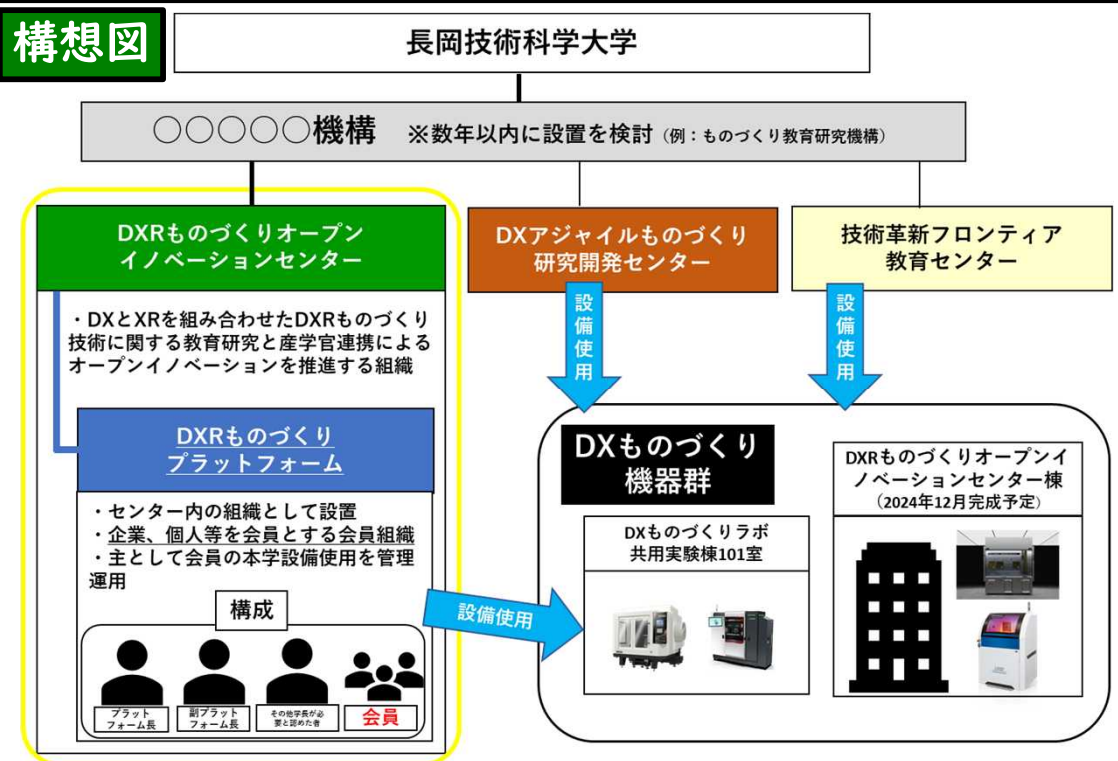
経済産業省の「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備事業(Jイノプラ2)」に本学の「DXRものづくりオープンイノベーションセンター」の整備が採択され、本予算による建物の建設、装置の導入をした。

また、本事業においてはオープンイノベーションを推進するため、産学官連携によってDXRものづくり技術を産業分野に応用展開する組織として「DXRものづくりプラットフォーム」を新たに設立。センター施設は2025年1月に完成し、2025年4月よりレンタルラボ貸出の運用を開始。既存施設「DXものづくりラボ」の設備も引き続き活用するなど、センター及び、当該プラットフォームを活動するための環境が整備され、当該事業を着実に推進していく。

■事業の概要

- ・新潟県企業のものづくりのオンリーワン技術を「**技学**」で科学的に解明し、**DX(デジタル連携)及びXR(現実と仮想世界の融合技術)**と組み合わせ価値を向上し、**社会実装**する。
- ・その技術を生かした新規事業を展開するために「**技術プロデューサー**」による**目利き・連携強化・ブランド化等の伴走型支援**を行う。
- ・大学、高専の起業人財の**DXRものづくりスタートアップ**を支援し、**DXRものづくりの人的交流・協業・人材育成**を行う拠点を構築。

構想図



DXRものづくりオープンイノベーションセンター棟



テクノミュージアム

場所:長岡技術科学大学 物質・材料 経営情報1号棟1F



テクノミュージアム「てくみゅ」へようこそ



ロボコンなどで活躍したロボットや、開発中のロボットを展示しています。各種イベント時には実演も予定しています。

私たちの大学、長岡技術科学大学はVOS(Vitality=活力、Originality=独創力、Services=世のための奉仕)をモットーに、産業界のリーダーとなる人材の育成、世の中の役に立つ技術の開発を目指し教育研究を行ってまいりました。2006年10月に開学30周年という節目を迎え、私たちの研究開発の成果を皆様に見ていただく場として、2007年6月にこのテクノミュージアムを開設いたしました。これらの研究成果や現在取り組んでいる研究の展示をとおして、多くの方々に私たちの研究開発、つまり工学を身近に感じてもらい、その面白さを味わっていただきたいと願っております。

展示品は私たちの過去・現在の成果ですが、これらが指し示しているものは私たちの未来です。より便利に、より快適に、より安心して暮らせる、そんな明るい未来です。そして何より、ここを訪れて最先端工学に興味を持ってくれる「次代を担う世代」が私たちの未来です。

まだ展示品も少なく展示方法も稚拙ですが、皆様からのご意見・ご要望を参考に充実させていきます。是非、テクノミュージアム「てくみゅ」で私たちの未来に触れてください。

豊かな暮らしのための最先端工学

「工学」と聞くと、「堅い」とか「難しい」というイメージを持たれている方も少なくないと思います。このテクノミュージアム「てくみゅ」では、面白い・楽しいと思える展示に心がけています。

例えば、金属板でできた昆虫はコンピューター制御の工作機械で作られたものです。実験室の片隅に転がっているような金属板と、普段は実験や研究に使われている装置で、ちょっとしたインテリアにもなりそうなものが生み出されます。肩の力を抜いて、「工学」を楽しんでください。

楽しむ工学



軽くて強いマグネシウム合金を使った製品を展示しています。その軽さを体感してください。

私たちの大学は、産業界との結びつきを重視した教育研究を行っています。その結果として生活に関わりの深い製品や技術が生まれてきています。また、地球環境問題やエネルギー問題、安心・安全社会の構築など、現在の社会が抱える重大な問題に多くの研究室が取り組んでいます。

このテクノミュージアム「てくみゅ」では、私たちの生活に関わる技術、これからの生活・社会を豊かにする研究を中心に展示をしています。一例をあげますと、「水しぶきの上がないアスファルト」があります。前の車の水しぶきで視界が悪くなるのを防げるばかりでなく、スリップも防げるので交通事故の防止に大きく貢献しています。気づかないうちに私たちもこのアスファルトの上を走っていたかも知れません。

他にも、生活を便利で豊かにする可能性を秘めた開発中の技術が展示されています。テクノミュージアムでは、最先端工学が拓く未来社会を垣間見ることができます。

開学50周年記念事業

長岡技術科学大学

GX棟見学会

リージョナルGXイノベーション共創センター

2026年

9/19 土

小学生・保護者向け 10:00 - 11:30

一般・同窓生向け 13:00 - 14:00



小学生・保護者向けの会では、
風車組み立てキットを使った体験学習も！

再生可能エネルギーをテーマに、GX棟の見学や講義を行います！

お申し込みは、
長岡技術科学大学開学50周年記念事業 特設サイトから
「ニュース・イベント」をチェック！
<https://www.nagaokaut.ac.jp/j/50th>



申込締切：9月6日（日）



長岡技術科学大学開学50周年

独創を、発展へ。

長岡技術科学大学大学戦略課企画・広報室

TEL: 0258-47-9209

E-mail: skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp

<https://www.nagaokaut.ac.jp>

2026年9月8日

長岡技術科学大学 技学研究院 機械系 教授 上村 靖司
長岡技術科学大学 技術開発センター 客員教授 吉澤 厚文

防災ワクチンに関わる研究の成果と進捗について

長岡技術科学大学と東京電力ホールディングス株式会社との技術開発プロジェクトから始まった防災研究を通じて生まれた「防災ワクチン」の概念は、地域防災力の向上に資する有効なアプローチとして社会へ広がりを見せています。その取り組みが評価され、本年4月には「令和8年度文部科学大臣表彰 科学技術賞（理解増進部門）」を受賞しました。

今回、これまでの研究と実践の成果を取り纏め、「防災の日」の9月1日に書籍『災害を自分ごとにする力』（株式会社ぎょうせい）を刊行しました。

今後も、「防災ワクチン」の実践と普及を通じて、一人ひとりの主体的な行動を促し、地域防災力の向上に貢献してまいります。

1. 成果：書籍発刊「災害を自分ごとにする力」－防災ワクチンで始める主体的防災－

【内容紹介】

本書は、「防災を自分ごと化する」を中心テーマに、これからの防災のあり方を提案する一冊です。従来の防災が制度や設備など「人の外側」に着目した管理指向型で進められてきたのに対し、本書では「人の内側」に働きかける主体指向型防災の重要性に着目し、その具体的な考え方として「防災ワクチン」という新たな概念を提示しています。

防災ワクチンとは、適度な体験や気づきを通じて災害への対応力を段階的に高め、自ら考え行動する力を育むアプローチです。本書では、その理論的枠組みを整理するとともに、「主体性獲得の5段階モデル」を用いて、人々が防災の当事者へと成長していく過程をわかりやすく解説しています。

その実践例として、「一枚の写真ワークショップ」「ブレーカーキット」「ブラックアウト大作戦」を紹介しています。写真を通じた対話による気づき、実体験による学び、停電体験による行動変容など、いずれも知識の習得だけでは得られない主体的な防災意識の形成につながる取り組みです。これらの結果から、防災が単なる備えではなく、人と人との関係性の中で成り立つ社会的営みであることが見えてきます。

また、災害時に「誰が悪いのか」を問う視点から、「もし自分だったら何ができるか」を考える視点への転換を促します。災害を完全に防ぐことはできませんが、一人ひとりの意識と行動の変化によって被害を減らし、社会の回復力を高めることは可能です。防災ワクチンの理念と実践を通じて、誰もが防災の当事者となり、支え合う社会を築くための新たな道筋を示しています。

【編著者】

長岡技術科学大学 機械系 教授 上村 靖司

【執筆者】

東京電力ホールディングス株式会社 フェロー（長岡技術科学大学 客員教授）吉澤 厚文

長岡技術科学大学 技術科学イノベーション系 教授 山口 隆司

長岡技術科学大学 機械系 助教 杉原 幸信

東京電力ホールディングス株式会社新潟本部地域共創部産学官連携グループ マネージャー
（長岡技術科学大学 客員准教授） 石川 崇

京都大学大学院工学研究科 修士課程 藤田 裕

※詳細情報については、別紙参照

2. 進捗：今後の「防災ワクチン」に関する活動予定

■ 防災ワクチンシリーズ「ブラックアウト大作戦 2026」

【日時】2026年10月16日（金）～ 10月23日（金）

【会場】参加者の任意の場所

【主催】長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター
中越防災安全推進機構、東京電力HD

【対象】一般市民

【内容】家庭や地域において、意図的にブレーカーを落とし停電を発生させ
災害時の生活を疑似体験することで、防災を「自分ごと」として捉える
体験型防災プログラムです。



昨年度の結果詳報



今年度参加登録

■ 防災ワクチンシンポジウム

【日時】2026年11月10日（火）14：00 ～ 17：10

【会場】ホテルニューオータニ長岡NCホール（長岡市）

【主催】長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター

【参加費】無料（要申込）

【定員】200名 ※先着順

【内容】防災ワクチンの概念やこれまでの取り組みを紹介した後、パネルディスカッションにて
知識を行動へ転換する仕組み、地域に根差した防災文化の醸成について議論し、地域防
災力の向上について、理解を深めます。

【備考】シンポジウム終了後、祝賀会を予定しています。



参加登録

※「防災ワクチン」ならびに「ブラックアウト大作戦」は東京電力ホールディングス株式会社の登録商標です

お問い合わせ

長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター事務局

地域共創課 地域共創推進係

TEL：0258-47-9298

E-mail：chiiki@jcom.nagaokaut.ac.jp



防災士フォローアップ研修にぴったりの1冊!

「防災が“自分ごと”に変わる 防災士スキルアップの必読書」

日本防災士機構 理事長 松崎 茂氏 推薦!

自治体・教育関係者からも好評!

真の防災力UPに不可欠な
「当事者意識」と「主体的に行動する力」
これを育てる! 3つの“免疫”手法を解説



1 災害現場の写真を読み解き
成功体験と主体性を育む
一枚の写真ワークショップ

2 通電火災防止=被害拡大防止
電気の知識+体験で体に記憶
ブレーカーキット

3 停電体験で自分のの中の
「当たり前」とのギャップを知る
ブラックアウト大作戦

付録
ワークショップで使える
スライド例ページも
あります。

著者紹介

編著者

上村 靖司 (かみむら・せいじ)



長岡技術科学大学 機械系 教授。博士(工学)。雪氷工学を専門とし、豪雪地域における雪害評価やその軽減技術、災害復興の研究に長年取り組む。除雪救援と除雪安全を掲げる「越後雪かき道場」を2007年に創設。代表として20年以上にわたり現場での実践に取り組む。近年は災害を自分ごととして捉え住民の主体的な防災行動を促す「防災ワクチン」の概念を提唱し、全国各地で講演やワークショップを展開する。文部科学省・防災科学技術委員会主査など社会活動も多数。

執筆者

吉澤厚文 (よしざわ・あつふみ)

東京電力ホールディングス株式会社フェロー、
長岡技術科学大学 技術開発センター 客員教授

山口隆司 (やまぐち・たかし)

長岡技術科学大学 技術科学イノベーション系 教授

杉原幸信 (すぎはら・ゆきのぶ)

長岡技術科学大学 技術科学イノベーション系 助教授

石川 崇 (いしかわ・たかし)

東京電力ホールディングス株式会社新潟本部地域共創部
産学官連携グループマネージャー、長岡技術科学大学 技術開発センター客員准教授

藤田 裕 (ふじた・ゆう)

京都大学大学院工学研究科 修士課程

「防災ワクチンの概念に立脚した教材と研修の普及啓発」は令和8年度文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞しました。受賞者は、上村靖司、山口隆司、吉澤厚文、渡利高大、Nur Adlin Binti Abu Bakar の5名。

A5判 【書籍版】定価 2,640円(10%税込み) 送料 400円

※送料は2026年8月時点の料金です。

【電子版】価格 2,640円(10%税込み)

※電子版はぎょうせいオンラインショップ(<https://shop.gyousei.jp>)からご注文ください。

※Kindle版もあります。

オンライン
ショップからの
お申し込みで
送料弊社負担!



株式会社 ぎょうせい

8月28日からオンラインショップにてご購入いただけます

目次

はじめに

第Ⅰ部

なぜ「正しい防災」では人は動かないのか

第1章 防災をマネジメントする

リスクの想定——ハザードマップ
災害対応の準備——タイムライン
災害時の初動対応——マニュアル化
マネジメント型防災の限界と課題

第Ⅱ部

主体をはぐくむ防災

第2章 災害をどう自分ごと化するか

災害を他人ごとから自分ごとへ
災害の自分ごと化とは
摂理・論理・心理

第3章 防災ワクチンという新たな概念

人の外側の防災、内側の防災
防災ワクチンという概念の誕生
防災・減災・縮災のモデル
災害経験が人を成長させる
主体性を育む5段階モデル

第Ⅲ部

当事者から主体へ

第4章 主体性を育む 「一枚の写真ワークショップ」

「一枚の写真ワークショップ」という
新たな研修手法
コンセプト「与えない・教えない・責めない」
1枚の写真＝問いを生み出すための装置
認知能力と非認知能力
ワークショップ参加者の意識の事前・事後の変化
「一枚の写真探し」ワークショップへと展開

第5章 「一枚の写真ワークショップ」の流れ

まずはアイスブレイク
ステップ①ー1「一枚の写真」から読み解く
ステップ①ー2「ニュース記事」から読み解く
ステップ② 登場人物の洗い出しと
プロフィール記述
ステップ③ 参加者によるロールプレイ寸劇

第Ⅳ部

傍観者から当事者へ

第6章 防災教材「ブレーカーキット」

停電から復帰したときに発生する通電火災
避難の前にブレーカーを落とす重要性
防災教材「ブレーカーキット」の開発

防災教育プログラムでの活用例
ブレーカーキット活用の広がり今後の展開
感震ブレーカーの普及促進のツールとして
本章のまとめ

第7章 ブラックアウト大作戦

なぜ「停電体験」なのか
ブラックアウト大作戦とは
ブラックアウト大作戦のやり方
ブラックアウト体験がもたらす気づきと変化

第8章 なぜ体験が人を変えるのか

経験学習としての防災
過信はどのように崩れるのか
感情が行動を変える
身体性とリアリティ

第9章 なぜ主体的であることが 必要なのか

津波避難3原則から考える主体的行動の構造
津波高さ 34.4メートル（当時）
という想定がワクチンに
災害復興の事例：課題解決と主体形成
協働除雪にみる主体的防災の事例
主体へと階段を上げるための必要条件

むすびにかえて

付録 「一枚の写真ワークショップ」の
進行スライドの例

商品に関するご照会・お申し込みは

フリーコール（通話料無料）
電話受付時間：平日9時から17時

TEL：0120-953-431
FAX：0120-953-495

Web
サイト

URL：https://shop.gyosei.jp

※電子版は「ぎょうせいオンラインショップ」（https://shop.gyosei.jp）からのご注文となります。閲覧には専用のアプリが必要です。[ぎょうせいオンラインショップ] 検索

■個人情報の取扱いについて

【利用目的】 ご注文に関するお客様への連絡、配送、代金の請求及びメール等による商品の案内に利用させていただきます。
【第三者提供】 お預かりした個人情報の第三者への提供はありません。
【委託】 利用目的の範囲内で業務を行うために、個人情報の取扱いを委託する場合があります。
【個人情報提供の任意性】 個人情報の提供はお客様の任意となりますが、商品のお届けなどに誤りが生じないよう、正確にご記入願います。
【開示等の求めに応じる手続】 利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止若しくは記録の開示をお求めの際は、次の窓口にお問い合わせください。
【個人情報相談窓口】 株式会社ぎょうせい 個人情報相談窓口 電話03-6892-6562 受付時間 平日9時～17時
【個人情報保護管理者】 情報管理担当執行役員



【お支払方法】

・お支払方法は、銀行振込、郵便払込み、コンビニ払い、PayPayほか各種ウォレットサービスからお選びいただけます。
・商品と同送あるいは別送する請求書記載の支払期日までにお支払いください。

【商品のお届け時期等】

・ご注文を承ってから、通常5営業日以内に発送します。
・乱丁・落丁や破損がある場合、送料弊社負担にてお取り替えいたします。
・お客様のご都合で返品される場合は、送料ご負担の上、商品到着後8日以内にお願いします。

キリトリ線

上記「個人情報の取扱いについて」に同意し、下記図書を申し込みます。

年 月 日

災害を「自分ごと」にする力 ～「防災ワクチン」で始める“主体的防災”～

A5判・定価2,640円（10%税込）送料400円 コード 5109052-00-000 防災ワクチン

部

防災ダイアリー（2027）

B5判・定価1,870円（10%税込）送料400円 コード 5181512-00-000 防災ダイアリー2027

特設サイトはこちら →



部

申込書

お届け先
ご住所

〒 - 都道府県

（フリガナ）
お名前

（ご担当部署名：

ご担当者名：

）

TEL

- -

e-mail

@

お得意様No.

（ご存知の場合はご記入ください）
□□ - □□□□□□□□

支払費

☐ 公費

☐ 社費

☐ 私費

※送料は2026年8月時点の料金です。

●弊社使用欄



株式会社
ぎょうせい

〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11
TEL：0120-953-431／FAX：0120-953-495

URL：https://shop.gyosei.jp

（2026.8）

ISBN978-4-324-11603-6 コード 5109052-00-000 防災ワクチン